

【私の生まれた町 秩父市「龍勢まつり」ハイキング】

2018年10月14日(日)

■往路

乗車・乗換駅	発時刻	着時刻
草加(区急館林)	6:12	7:02
羽生	7:06	8:38
皆野	-	2:26

■コースタイム(見学時間を含む)

チェックポイント	時刻	所要時間
皆野駅スタート	8:50	-
龍勢会館(6.4km)	10:30	1:40
棕神社(11時祭礼50分)	10:45	0:15
中島実家(茂木家)	11:05	0:20
昼食	11:45	0:40
吉田小学交	12:25	0:40
棕神社(むくじんじゃ)	13:05	0:40
龍勢会館	13:20	0:15
所要時間合計		4:30

■復路

乗車・乗換駅	発時刻	着時刻
龍勢会館(バス乗車)	14:30	14:50
皆野(三峰口行)	15:02	15:16
秩父(急行秩父路8号)	15:44	16:46
羽生	16:55	17:16
久喜	17:22	17:47
草加	-	2:03

交通費：3,204円

秩父路遊々フリーきっぷ：1,440円

●参加者：名

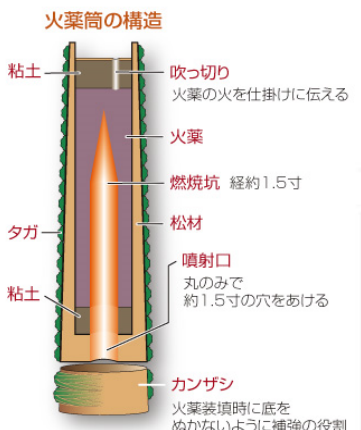


★龍勢の構造

背負い物(ショイモノ)
唐傘、花火、落下傘などの仕掛けをセットします。伝統技術の見どころで各流派によって異なり、龍勢の個性が決まります。

火薬筒
松材をくり抜き、竹のタガで補強してから黒色火薬を詰めます。下部に噴射口を開け、上部には仕掛けのための導火線を通す穴(フッキリ)を開けます。

矢柄(ヤガラ)
前もって切り出した青竹を、天日で乾燥させ軽くした後、火薬筒に縛りつけ方向舵の役割をさせます。長さは約10間(約18m)もあります。



交通規制

午前 8:00より、龍勢祭終了まで

車両進入禁止 **一方通行**

表示エリア内、路上駐車はご遠慮ください

龍勢(りゅうせい)

棕神社例大祭に奉納する神事として、代々傳承されてきた農民による手作りロケット。「秩父吉田の龍勢」は、国・重要無形民俗文化財に指定された。「もしも世界中の物理学者が吉田の龍勢を知っていたら、宇宙ロケットの歴史はもう10年早く始まっていたらろう」。龍勢の起源は諸説ありますが、棕神社縁起に「日本武尊が奉持した鉾より発した光のさまを尊び、後世氏子民が光を飛ばしご神意をなぐさめ奉った。」また「戦国の頃、ノロシから土地の農民が考案し、その後改良された」とも伝えられている。天正3年に龍勢を打ち上げたという棕神社社伝がありますが、定かではない。

皆野 棕神社(むくじんじゃ)

延喜式神名帳に掲載された武蔵国秩父郡の式内社である。同名の棕神社が秩父郡市内に5社有る。例祭の際に龍勢を打ち上げる龍勢祭りは有名である。明治17年(1884年)10月31日、秩父困民党の決起集会が行われた場所でもある。秩父事件120周年を迎えた2004年には、記念作品映画「草の乱」の撮影が行われた。叢山中腹にある叢神社を奥宮とし、県指定無形民俗文化財の獅子舞と町指定無形民俗文化財である神楽を傳承する。また町指定有形民俗文化財として桃山様式と伝えられる獅子頭を保存している。神社向かいには秩父味噌の新井武平商店の本店があり直売所で味噌など買える。